

浜松市立内山真龍資料館 展示

真龍の旅

令和7年3月21日(金)

▶ 6月 8日(日)

観覧
無料

内山真龍(元文五(1740)年～文政四(1821)年)は、遠江国豊田郡大谷村(浜松市天竜区大谷)の名主として、また自らの国学研究のために、その生涯において数多くの旅をしました。

若年の頃は浜松若宮小路(浜松市中央区大工町)の渡邊蒙庵(わたなべもうあん)の家塾に通い、国学研究に没頭してからは江戸在住の賀茂真淵(かもまぶち)を訪ね、やがて歴史地理の主題を掲げて遠江各地を踏査し、さらに深化に伴って山陰・近畿地方を巡歴します。記録が残る21歳(=宝暦十(1760)年)から73歳(=文化九(1813)年)の京都旅行に至るまでだけでも、計23回にも及ぶ大小の旅を真龍は経験しています。これに名主としての仕事の旅を加えるとさらに膨大な回数になり、当時としては相当な旅の経験者と言えます。

本展では、名所旧跡を訪ねることで見聞を深めるとともに、現地踏査により国学を究めた真龍の、旅の足跡を紹介します。



◀【大典侍局 書翰(おおすけのつぼね しょかん)】

真龍著『日本紀類聚解(にほんぎるいじゅかい)』が文化9年5月18日に光格天皇の天覧を賜った際の、大典侍局による受取書。光格天皇が満足感心されたことなどが書かれている。

▶【聖徳太子及び二王子像(複製)】

真龍が寛政3年に法隆寺で模写し、後に阿蔵村(天竜区二俣町阿蔵)の玖延寺へ寄進したもの。



主な展示内容〔予定〕

- ◆出雲日記(清龍寺本)
- ◆日記(明和六年 近畿地方)
- ◆日記(安永四年 京畿の旅日記)
- ◆日記(文化八・九・十年)
- ◆文化九年壬申年四月廿三日 京都旅行(日本紀類聚解奉献旅記)
- ◆大典侍局書翰
- ◆聖徳太子及び二王子像(複製)
- ◆出雲風土記解くさぐさ
- ◆辞世詠歌
- ◆内山真龍七十七歳像



浜松市立
内山真龍資料館

開館時間:午前9時から午後5時まで
休館日:月・火曜日、祝日(5/3(土)、5/4(日))
住所:浜松市天竜区大谷568番地
電話:053-925-4832



浜松市 HP